平成28年度事務事業実績評価表										3	施策No.	37	事業No.	11 - 43
事務事業名 次世代育成支援行動計画推進事業									会計 業種別	一般会 到 政策	計算	E施区分 台 22	継続 終了	
H291	作成課等	名子育で	支援課		H29係等名	こども家庭応	援セン	ター			当課等名子			ψ< 1
基本計画上 政策 3 健やかに安心して暮らせるまちづくり														
の位置づけ 施策 37 子どもを産み育てやすい環境の充実													90年度粉点	
	対象(誰・何を) 一般市民									指標名及び単位				28年度数値
									対	一板印氏(4/1,任基+2/2)   100957				
目								120->	<b>涿</b>					
的	「息図(とりいう状態   5年間)の推進により、より多くの市民が子育てしてまたと思う							すいま	指標					
	向上させたい上位施 子どもを育てやすい社会環境であると感じている						いる対象			18歳未満人口(4/1,住基+外登)			17044	
	第の成果指標 の割合 1973年							431 <b>-</b> 2			1 a a 4 a 4 3 1	10044	/   /	(北层玄玉 5 18)
	種別 指標名及び単位 2 成果 子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者							支計画 2	27年度	<b>美</b> 稹	28年度計画	28年度	美績	(指標変更など)
目標			すてやすい †民意識調					4	61		62	62		
	THE STATE OF THE S													
	ام ا ما													
	定性目標													
		すて応援フ	プラン対象	事業										
														っ、子育てを実
					になった具体 ・ホームページ					(V)(N	セアル争業	ど天施し	/、地 吸 个	・拡入する。ま
事	, , , ,	20.2 3 13	C/G 122 113 11	( ) ( )		5.000	111 11000	1111 / 32	0					
業														
概要														
女														
		事業内容									名称			活動指標
	1 次世代育成支援対策地域協議会による進捗状況等の確認及び								開催回				1 2回	
	2 子育	ずて応援サ	ボーター	ペーター会議の開催					開催回	催回数		2 31	1	
28 年														
度														
事														
業内														
容														
	事業			決算額	28年度予算8		21 121	29年度	繰越額			特定財活	原内訳、補	<b>東</b> 足
事	事業費計(千円)① 国庫支出金			2,787	3,80	JS	2,888			0				
		文山並								$\dashv$				
		□並 <u></u> □債								$\dashv$				
	そ	その他												
	一般財源			2,787	3,80		2,888							
	人件費計(千円)(正規職員所要時			1,073		0	1,073			0				
_		所要時間 所要時間		300			300			$\dashv$				
		かる 数 数 数 は は は は は は は は は は は は は		3,860	3,80	03	3,961			0				
・飯田市次世代育成支援対策協議会において、子育て応援プランの進捗状況及び成果について協議検 ・次世代育成支援対策協議会作業部会(子育て応援サポータ会議)により子育て応援情報誌の改訂を行いた。また、男性の育児参加を促すための育児応援ハンドブック「いいだパパナビ」を作成した。														
												「を行い情	F報発信に努め	
	がん。また、男性の育児参加を促すための育児応援ハンドブック「いいたパバナビ」を作成した。 り返り													
		0 8000	<ul><li>・子苔でプ</li></ul>	プランの証	価方法につい	て 評価其準	をわか	りやすく	明確!	こする	ろ必要がある			
	・子育てプランの評価方法について、評価基準をわかりやすく明確にする必要がある。 ・情報誌による内容は充実してきたがホームページ子育てネットについては改善を図る必要がある											がある。		
	单以善													
の考	え方	②改革		評価方法は、評価の基準を数字など具体的に見える形になるよう検討する。 別れ目のない支援ツールとしての携帯端末の情報媒体の研究を進める。										
		提案	シカロロの	//よv · 又1友	:/ /rcb(0	~175 TT >TT \\\	旧拟烁	イナマノル厂	ノレてだ	ニペノ公	<i>)</i> o			